

生産出荷近代化計画の概要

[野菜指定産地名] 石巻

[指定野菜の種別] 冬春きゅうり

[指定区域] 石巻市, 東松島市

[指定年月日] 昭和46年6月30日

[計画樹立年月日] 昭和49年1月26日

[計画変更年月日] 令和 3年3月31日

[変更後の計画概要]

○生産及び出荷の近代化に関する基本構想

本産地は、昭和46年に指定を受け、きゅうりの安定生産供給にむけて、鉄骨ハウスを導入し冬春きゅうりの生産拡大に取り組んできた。しかし、近年、都市化による農地の減少、連作障害（特に塩類蓄積）による収量、品質への影響、価格の低迷等により、生産意欲が減退し、生産者数が年々減少する傾向にある。

今後は、産地の維持・発展に向けて、生産出荷体制の見直し、連作障害対策、環境にやさしい栽培技術導入等早急に取り組んでいく。

また、「JAいしのまききゅうり」のブランド確立に向け、消費者・実需者ニーズを把握しながら、売れるきゅうりづくりを検討する他、流通については、契約取引の販路拡大、取扱数量の増加を進め、きゅうり産地としての安定供給と農業経営の安定に努める。

○生産出荷近代化の現状と目標

項目	現状 (H29)	目標 (R4)
作付面積 (ha)	16	16
生産量 (t)	1,672	1,672
出荷量 (t)	1,488	1,488
共販等量 (t)	1,041	1,041
共販等率 (%)	70	70
収量 (kg/10a)	10,130	10,130